

弘前大学農学生命科学部地域環境工学科農業土木コース

平成23年度 教育評議会 記録（案）

日時：平成24年3月17日（土） 16：00～17：00

場所：農学生命科学部131室

出席者：〔外部委員〕 田中, 砂沢, 櫻田(隆), 桜田(清), 山田

〔プログラム教官〕 泉, 加藤, 高橋, 工藤, 佐々木, 遠藤, 藤崎

進行：工藤

記録：藤崎

前回の記録の確認

資料の通り承認された。

議 事

（1）継続審査結果について

平成22年度の継続審査について資料1の正式な結果の通知があり、6年間認定となったこと、C（懸念）と指摘された項目については、継続的な改善に努める旨説明があり、了承された。

（2）カリキュラム変更

2008年の学部改組から4年間経過しカリキュラム変更が可能となり、資料2-1, 2-2のように2012年入学生からカリキュラムの変更を行ったことと、この変更に関して、資料10のような変更通知をJABEEに提出する予定である旨説明があった。変更の理由、内容の同等性に関して質問があり、科目をわかりやすく整理したことと、カリキュラムの微修正であり、実質的には同等である旨返答があった。そして、カリキュラム変更については了承され、JABEEに提出する変更通知の文言については意見を踏まえ工夫することが了承された。

（3）学生の学習目標達成状況

資料3～5に基づき、今年度修了生の修了要件達成状況と、2, 3年生の成績状況の説明があり、それぞれ了承された。

（4）教育褒賞および弘前大学表彰

資料6に基づき、昨年度は土質力学担当の佐々木先生が表彰者となったことと、学部教育改善委員会主催の学部FD報告会で、藤崎先生が、教育改善方策を報告したこと、さらに遠藤前学長からJABEEの取組みが表彰された旨説明があり、了承された。

（5）JABEEの最新動向

資料8に基づき、JABEEの基準が大きく変更される予定であり、資料作成が簡略化される部分があること、デザイン能力の育成が重視される傾向にあることなどが説明された。変更への対応時期やカリキュラムの改善に関し質問があり、新基準には次回の審査時に対応していれば良いことと、デザイン能力の育成などカリキュラム改善など新基準への対応は、次回審査に向け継続的に検討を行う旨説明があり、了承された。

（6）その他

資料 9 に基づき、科学科から工学科に学科名称が変更した最初の学年の学生の就職状況について報告があった。